

2024 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	東アジア平和協力研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないでできるだけわかりやすく記述してください。

立命館大学東アジア平和協力研究センターは創設 6 年目を迎え、東アジアにおける国際研究交流をこれまで通り行うとともに、広範囲のグローバル研究ネットワーク形成、若手研究者育成、東アジア以外の地域との東アジア地域における研究交流活動などを展開した。2024 年度は合わせて 3 回のシンポジウム、11 回の研究会及びセミナーを開催した。

【国際シンポジウム・セミナー研究会等】計 14 回中、重要事項のみ抜粋。

- 国際シンポジウム「超不確実性時代の日韓戦略的パートナーシップ」(6.7)
日韓の国際情勢に関わる研究を行う国内外の研究者や実務者を招聘し、より不確実性を増す日韓をめぐる環境について意見交換と討論を行った。
- ワークショップ「South Korea`s General Election 2024 and the Regional Security - Japan & South Korea`s Choice - 」(6.15)
日韓及び欧米圏の日韓関係研究者を招聘、韓国の 2024 年総選挙後の情勢に関する意見交換・討論を行った。
- 東アジア平和協力研究センターワークショップ 若手研究者の研究交流会(6.16)
韓国外国語大学校と立命館大学の若手研究者による意見交換と研究交流を行った。
- 講演会「転換期の東アジア情勢と日中韓三国協力の現状と未来」(9.13)
日中韓三国協力事務局(TCS) 事務総長の李熙燮氏を招聘し、日中韓三国と周辺地域の情勢について講演会を行った
- 共同研究会「East Asian Affairs at a Turning Point and the Current and Future Cooperation Between Korea, China, and Japan (9.20) MOUを締結したベルリン自由大学との共同研究会を実施し、東アジア情勢の急変にどう対応すべきか議論を行った。
- 国際シンポジウム「北東アジアにおける安保環境の変化と日韓北中―未来戦とデジタル覇権」(9.23)
韓国外国語大学校HK+事業団と駐大阪大韓民国総領事館との共催で安保関係の新しい論題である情報戦などについて議論を行った。
- 韓国対外経済政策研究院(KIEP)所属 Dr. Lee Kyu Yub 氏との研究交流会(10.25)
KIEPからの受け入れ研究院のLee氏と若手研究者との研究交流を行い、若手育成と国際研究交流を行った。
- 東アジア平和協力研究センター研究会「東アジア情勢と日越(日本―ベトナム)関係」(10.28)
日韓関係に集中していたセンターの事業内容の拡張の試みとして、ベトナム社会科学研究院アジア・西アジア・アフリカ研究所副所長を招聘し、講演会・研究会を実施した。
- ワークショップ「朝鮮半島情勢の変化と日韓協力」(11.11)
アメリカ大統領選挙の結果を受け、朝鮮半島情勢の大変化にどう対応すべきかを前職・現職実務者を招いて議論した。
- 韓国対外経済政策研究院(KIEP)との国際セミナー「ROK-Japan(Japan-ROK) Economic Security Dialogue」(12.8)
研究協力を進めているKIEPとの例年の研究交流として日韓経済安保に関する国際セミナーを行い、意見交換・討論を行った
- 緊急企画「漂流する韓国政治＜弾劾＞政局の行方」(12.23)
韓国政治の混乱な状況を解説すべく、緊急研究会を行った。

【出版プロジェクト】

- 『韓国語セカイを／に生きる』／『韓国とつながる』出版プロジェクト（2024 年 7 月・12 月発刊）

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2025 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割		氏名	所属	職位
センター長		中戸 祐夫	国際関係学部	教授
運営委員		渡辺 宏彰	国際関係学部	教授
		君島 東彦	国際関係学部	教授
		廣野 美和	グローバル教養学部	教授
		松野 周治	経済学部	名誉教授
		中川 涼司	国際関係学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)		駒見 一善	国際教育推進機構	准教授
		大久保 史郎	法務研究科	名誉教授
		勝村 誠	政策科学部	特命教授
		フレンチ・トーマス	国際関係学部	准教授
		伊藤 弘太郎	共通教育推進機構	客員准教授
		崔 正勲	衣笠総合研究機構	客員准教授
		張 瑛周	衣笠総合研究機構	客員助教
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員			
	補助研究員・リサーチアシスタント	馬場 一輝	国際関係研究科	博士後期課程
	大学院生	SUH Sunghyun	国際関係研究科	博士後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)		宋 基栄	言語教育センター	授業担当講師
客員協力研究員		澤田 克己	毎日新聞論説委員	客員研究員
		関 智焄	龍谷大学 非常勤講師	客員研究員
		安 仁海	元高麗大学教授	客員研究員
		浅羽 祐樹	同志社大学グローバル地域文化学部教授	客員研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)				

センター構成員 計 20 名 (うち学内の若手研究者 計 2 名)

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2025 年 3 月 31 日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	浅羽祐樹	『韓国語セカイを／で生きる』	共著	2024 年 7 月	朝日出版社	朴鐘厚他 12 名	
2	中戸祐夫	『総論：岸田政権の外交・安保政策の遺産』(韓国語)	共著	2024 年 11 月	慶南大学極東問題研究所	조진구他 7 名	pp.1-16
3	浅羽祐樹	『韓国とつながる』	共著	2024 年 12 月	有斐閣	朴鐘厚他 12 名	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	中戸祐夫	North Korea's "Two Hostile States" Theory : Enhancement of Deterrence?	単著	2024 年 11 月	The Korean Association of International Studies, Korea On Point			なし
2	中戸祐夫	<書評>権憲益・鄭炳浩『「劇場国家」北朝鮮—カリスマ権力はいかに継承されたのか』(趙慶喜訳、法政大学出版会、2024 年)	単著	2024 年 6 月	THE BOOK REVEIW PRESS、図書新聞			なし
3	君島東彦	平和のアジェンダを再設定する	単著	2024 年 7 月	地平社、戦争ではなく平和の準備を		pp.189-205	なし
4	君島東彦	ポスト 3.11 の日本における平和問題—対立する 2 つの方向性のせめぎ合いを見つめる (中国語)	単著	2024 年 9 月	中国社会科学院日本研究所、日本学刊、(5)		pp.19-26	なし
5	君島東彦	安全保障を根源的にとらえ直す	単著	2024 年 10 月	特定非営利活動法人ピースデポ、脱軍備・平和レポート、29		pp.2-10	なし
6	君島東彦	いま平和をとらえ直す 4 つの視点—国家ではなく市民から考える	単著	2024 年 12 月	公益社団法人 子ども情報研究センター、はらっぱ、411		pp.3-10	なし
7	廣野美和	グローバル・ガバナンスに関わる中国の関連構想と行動	単著	2024 年 5 月	21 世紀政策研究所、21 世紀政策研究所研究プロジェクト：習近平政権三期目の目標と課題—強さと脆さ—		pp.175-192	なし
8	廣野美和	Japan/Australia Minilateralism in the Indo-Pacific (II): Advancing Cooperation in Order-building and Geoeconomics	共著	2024 年 6 月	East-West Center	H.D.P. Envall, Kyoko Hatakeyama, Thomas S. Wilkins		なし
9	廣野美和	Indo-Pacific Minilateralism and Strategic Competition (I): Australia/Japan and Chinese Approaches	共著	2024 年 6 月	East-West Center	H.D.P. Envall, Kyoko Hatakeyama, Thomas S. Wilkins		なし

		Compared						
10	廣野美和	Quantifying social capital creation in post-disaster recovery aid in Indonesia: methodological innovation by an AI-based language model	共著	2024年6月	Disasters	Daniel Moritz Marutschke, Muhammad Riza Nurdin		あり
11	廣野美和	Local knowledge as the basis of disaster management and humanitarian assistance	共著	2024年6月	Disasters	Muhammad Riza Nurdin		あり
12	廣野美和	Diasporas as a linchpin in local and international humanitarian action: a case study of the Chinese in Aceh following the 2004 tsunami	単著	2024年6月	Disasters			あり
13	中川涼司	「中国の不動産開発問題 不動産規制と不況」	単著	2024年9月	『日中友好新聞』		p.1	なし
14	中川涼司	「書評 李春利編著『不確実性の世界と現代中国』」	単著	2024年10月	中国経済経営学会、『中国経済経営研究』、8(2)		pp.80-84	なし
15	中川涼司	「中国の高齢化と社会保障 社会保障制度の停滞と再構築」	単著	2025年1月	『日中友好新聞』		p.1	なし
16	中川涼司	「トランプ政権の成立と米中対立の今後」	単著	2025年3月	『日中友好新聞』		p.1	なし
17	中川涼司	Economic Security Policy of the US and China, and the Response of Japan: Avoidance of the Thucydides Trap of Economic Security	単著	2025年3月	立命館大学国際関係学会、『立命館国際研究』、37 (4)		pp.1-14	なし
18	駒見一善	コロナパンデミックと中国をめぐる人的移動ー日本、台湾の事例からー	単著	2024年6月	中華大学人文社会科学学院応用日本語学科、中華日本研究、15		pp.60-89	なし
19	勝村誠	ウトロ平和祈念館ー東アジアの出会いと発見の場	単著	2024年7月	歴史教育者協議会、歴史地理教育、972			なし
20	勝村誠	現代日本社会における治安維持法関連活動の意味ー治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟を中心にー	単著	2025年3月	独立記念館、国際学術シンポジウム「韓国独立運動と治安維持法」、180		pp.32-51	なし
21	FRENCH Thomas W.	Employing Contemporary Political Analysis Approaches to Examine the Political Systems of Imperial Japan (II): 1880	単著	2024年6月	立命館大学国際関係学会、Ritsumeikan Kokusai Kenkyu、37 (1)		p.26	あり
22	張瑛周	朱宰佑著 朱宰佑の知略の計：朝米関係、	単著	2025年1月	コリア研究センター、コリア研究、13		pp.93-95	あり

		その宿命の歴史						
23	SUH Sunghyun	『政党不在の民主主義は考えられない』	単著	2025年1月	コリア研究センター、コリア研究, 13		pp.89-91	あり

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	中戸祐夫	Is a "Taiwan emergency" an emergency for Japan and Korea? How Japan and South Korea view a "Taiwan emergency."	2024 年 11 月	Asia Pacific Conference, Ritsumeikan Asia Pacific University	
2	中戸祐夫	Japan's Economic Statecraft: The Case of Export Controls on South Korea	2024 年 12 月	立命館大学東アジア平和協力研究センター、「ROK-Japan Economic Security Dialogue」、オークラホテル京都	
3	中戸祐夫	岸田政権の外交・安保政策遺産—台湾有事と北朝鮮問題—	2024 月 11 月	東国大学北韓研究所「第 2 次冷戦到来と安全かつ持続可能な韓半島秩序構築の模索」、ソウル	
4	中戸祐夫	South Korean, Japanese, Indian, and Taiwanese responses to Trump 2.0	2025 年 02 月	Institute for National Security、Strategy Geopolitics, East Asia Flashpoints, and Interconnected Conflict Risks	
5	中戸祐夫	日韓安保協力のメカニズム	2025 年 03 月	民主平和統一諮問会議日本地域会議、「韓日修交 60 周年：省察と未来ビジョン」	
6	渡辺宏彰	Trump 2.0 and the regional trade and supply chains in the Asia-Pacific	2024 年 12 月	立命館大学東アジア平和協力研究センター、「ROK-Japan Economic Security Dialogue」、オークラホテル京都	
7	君島東彦	Constitutional Peace Provisions: A Historical and Theoretical Anlysis	2024 年 05 月	Kyrgyz Law Conference、Bishkek (online)	
8	君島東彦	マルチトラック平和と外交について考える	2024 年 06 月	日本平和学会春季研究大会「憲法と平和」分科会、学習院大学	
9	君島東彦	Japan's Constitutional Peace Principles: Origins, Present, and Future	2024 年 08 月	Conference of Lawyers of Asia and the Pacific 2024 in Tokyo、東京	
10	廣野美和	ウクライナ戦争と中国—グローバル・ガバナンスの観点から—	2024 年 05 月	第 17 回グローバル・ガバナンス学会研究大会、「グローバル・ガバナンス学会」	
11	廣野美和	Sino-Japan relations in the Indo-Pacific: Implications for the regional orders	2024 年 08 月	2024 ANU CHINA IN THE WORLD FORUM、オーストラリア キャンベラ	
12	廣野美和	Chinese Investment and Human Development: Analytical Framework	2025 年 02 月	Center for International Relations Studies (CIReS)-LPPSP, Universitas Indonesia and Asia-Japan Research Institute (AJI), Ritsumeikan University、Chinese Investment and Human Development of Vulnerable Populations in Indonesia、Kota Depok, Indonesia	
13	中川涼司	中国アニメ企業のビジネスモデルとビジネスエコシステム	2024 年 09 月	アジア経営学会「アジア経営学会第 31 回全国大会」、関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス	
14	FRENCH Thomas W.	International Perspectives on War Heritage, Memory, and Museums in Japan	2024 年 07 月	International Perspectives on War Heritage, Memory, and Museums in Japan	
15	FRENCH Thomas W.	Re-Examining Japan's Cold War Conference	2024 年 08 月	Re-Examining Japan's Cold War Conference、'Re-examining Japan's Cold War', University of East Anglia, Norwich, United Kingdom,	

16	FRENCH Thomas W.	Re-Examining Japan's Cold War Conference II	2025 年 02 月	The Cold War Japan Network、Re-Examining Japan's Cold War Conference II、Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University	
17	張瑛周	朝鮮半島の秩序形成と北朝鮮の核管理（統制）	2024 年 11 月	東国大学北韓研究所「第 2 次冷戦到来と安全かつ持続可能な韓半島秩序構築の模索、」釜山	
18	張瑛周	Japanese Foreign Policy toward East Asia and the Japan-North Korea Relations under Japan's minority government	2025 年 1 月	The Future of U.S. Policy and the Indo-Pacific. Cigur Center for Asian Studies, Elliot School of International Affairs (George Washington University).	Institute for Korean Studies, the GW. The Institute for Peace and Unification Studies, Seoul Univ. 東アジア平和協力研究センター

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	国際シンポジウム 「超不確実性時代の日韓戦略的パートナーシップ」	衣笠キャンパス	2024 年 6 月	16 名	国民大学校 日本学研究所
2	東アジア平和協力研究センターワークショップ 「South Korea's General Election 2024 and the Regional Security – Japan & South Korea's Choice - 」	朱雀キャンパス	2024 年 6 月	15 名	
3	東アジア平和協力研究センターワークショップ 若手研究者の研究交流会	朱雀キャンパス	2024 年 6 月	4 名	
4	研究会 「幕末明治の平和学—ラトガース大学を起点とする「新しい日本」の構想」	衣笠キャンパス	2024 年 6 月	15 名	
5	講演会 「転換期の東アジア情勢と日中韓三国協力の現状と未来」	衣笠キャンパス	2024 年 9 月	25 名	TCS（日中韓三国協力事務局）
6	共同研究会 「East Asian Affairs at a Turning Point and the Current and Future Cooperation Between Korea, China, and Japan」	The Institute of Korean Studies at Berlin Freie University	2024 年 9 月	5 名	The Institute of Korean Studies at Berlin Freie University
7	国際シンポジウム 「北東アジアにおける安保環境の変化と日韓北中—未来選とデジタル覇権」	駐大阪大韓民国総領事館	2024 年 9 月	17 名	駐大阪大韓民国総領事館 韓国外国語大学校国際地域研究センター HK + 国家戦略事業団
8	懇談会 「垂秀夫元大使 招聘懇談会」	衣笠キャンパス	2024 年 10 月	7 名	
9	韓国対外経済政策研究院(KIEP)所属 Dr. Lee Kyu Yub 氏との研究交流会	衣笠キャンパス	2024 年 10 月	6 名	
10	東アジア平和協力研究センター研究会 「東アジア情勢と日越（日本—ベトナム）関係」	衣笠キャンパス	2024 年 10 月	12 名	
11	東アジア平和協力研究センターワークショップ 「朝鮮半島情勢と日韓協力」	衣笠キャンパス	2024 年 11 月	15 名	
12	韓国対外経済政策研究院(KIEP)との国際セミナー 「ROK-Japan(Japan-ROK) Economic Security Dialogue」	オークラホテル京都	2024 年 12 月	11 名	韓国対外経済政策研究院(KIEP)
13	緊急企画 「漂流する韓国政治＜弾劾＞政局の行方」	衣笠キャンパス	2024 年 12 月	120 名	立命館大学コリア研究センター
14	東アジア平和協力研究センター研究会 「グローバルサウスと核」	オンライン	2024 年 12 月	9 名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	中戸祐夫	"Experts eye China-Japan meeting on sidelines of ASEAN" (interview) by Chung-Hsi Tu, Voice of America	Voice of America	2024 年 7 月 25 日
2	中戸祐夫	"Tokyo-Beijing Forum Aims To Warm Chilly Relations," (interview) by Chung-Hsi Tu, Voice of America	Voice of America	2024 年 12 月 6 日

3	渡辺宏彰	Japan's economic stagnation	BBC News	2025 年 3 月
4	君島東彦	京都でピースツーリズムをつくるー平和学習としての京都観光	名鉄観光 社内セミナー 講演	2025 年 1 月 20 日
5	廣野美和	China and The World Orders Through The Lens of General Elections in Developing Countries	FISIP Universitas Indonesia 講演	2025 年 2 月 27 日
6	廣野美和	Interview with Prof. Miwa Hirono	SXC live	2025 年 3 月 7 日
7	廣野美和	Session 1: Impact of China's rise	IIRAS (Institute of International Relations and Area Studies)	2025 年 3 月 19 日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業（科研費）						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	廣野 美和	中国投資と東南アジア弱者層の人間の安全保障：グローバル中国研究論の推進	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	2024 年 9 月	2028 年 3 月	代表

8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	中戸 祐夫	2024 Research Project on East Asian Peace and Cooperation by Ritsumeikan Committee for East Asian Peace and Cooperation	韓国国際交流財団	2023 年 12 月	2024 年 12 月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1								